

銀行情報 / 休日情報更新プログラム 実行手順書

2023/5 月版

※本プログラムは以下の製品において実行可能となります。

『電子債権の達人』
『電子債権の達人 Ver.2』
『手形の達人 for 奉行 10』
『手形の達人 for 奉行 11』
『手形の達人 for 奉行クラウド』

※銀行情報/休日情報更新プログラムは、スタンドアロン版および、LANPACK 版のサーバープログラム専用となります。
サーバー側で実行した場合はクライアントプログラムでの実行は不要です。



目次

事前準備	1 ページ
▼	
銀行情報/休日情報更新プログラムの実行	2 ページ
▼	
更新の確認	7 ページ

銀行情報/休日情報更新プログラムは、スタンドアロン版および、ランパックのサーバープログラム専用となります。ランパックのクライアントプログラムでの実行は不要です。

銀行情報/休日情報更新プログラムは、[銀行登録]メニューの銀行情報および、[休日登録]メニューのカレンダー情報を更新登録するプログラムです。既に登録済みの手形データ内の振出銀行等については登録時点でのデータがそのまま保持されます。**銀行情報/休日情報更新プログラムの実行によって登録済みの手形データ情報に変更されることはありません。**

銀行情報/休日情報更新プログラムに下記エラーメッセージが出た場合、下記対応手順を実行後、再度銀行情報/休日情報更新プログラムを実行してください。

•「ファイル C:\¥ Update\¥wBank.bcp を開けなかったので一括挿入できませんでした」	8 ページ
•「一括挿入データ変換エラー（型の不一致）、行 1、列 6（tilsStrn）。」	
•「時間切れになりました。」	10 ページ
•「バックアップデバイス～が開きません。アクセスが拒否されました。」	12 ページ
•「SQL サーバー情報設定」画面が表示された場合の処理	13 ページ

☼ユニオンソフト サポートセンターについて☼

- 電話、FAX、メールにてお問い合わせいただけます。

《受付時間：平日9:30～12:00、13:00～17:00》

- お問い合わせ時には登録番号が必要になります。事前にご確認の上ご連絡下さい。
- 電話回線が込み合う場合がございます。メール・FAXでのお問い合わせもどうぞ活用下さい。

TEL 050-2018-2788 / FAX 095-813-0035

Mail union@tatuji.co.jp

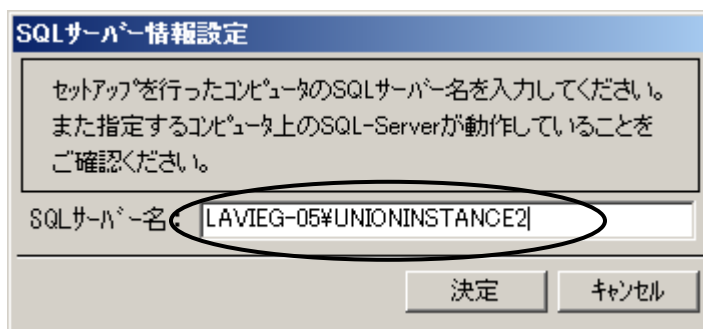
事前準備

注意！

◆ 銀行情報/休日情報更新プログラムの実行前に、SQL サーバー名を確認してお控え下さい。

● SQL サーバー名の確認

1. 製品を起動します。
2. メインメニュー上で「Shift」キーを押しながら「Enter」キーを押し、SQL サーバー名を確認します。



※上記画面のSQLサーバー名はお使いの環境によって異なります。

銀行情報/休日情報更新プログラム

注意！

- ◆製品を終了させた状態で、銀行情報/休日情報更新プログラムを実行してください。
- ◆ランパック版をご使用のお客様は、サーバー側で実行してください。

1. 銀行情報/休日情報更新プログラム CD を CD-ROM ドライブにセットします。
2. セット後プログラムが自動起動し、データ更新の画面が表示されます。

対象	No.	会社名1	会社名2
<input checked="" type="checkbox"/>	1	ユニオン商事株式会社	
<input checked="" type="checkbox"/>	2	ユニオン商事株式会社	
<input checked="" type="checkbox"/>	2	テスト用	
<input checked="" type="checkbox"/>	4	テスト2	

処理選択 ※会社データの更新条件を選択して下さい。初期データは無条件に更新されます。

銀行・本支店の更新

現在のデータを保持したまま、最新の全銀協データで更新する
 実行しない

銀行休日カレンダーの登録

実行する
 実行しない

会社データ保存

F5実行時に以下のフォルダに会社データを保存する。
C:\Union#Tegatav9

F5実行時に会社データを保存しない。
 手形フォームのバックアップを取得する。(TXT形式)

F5 実行 F11 初期値 F12 終了

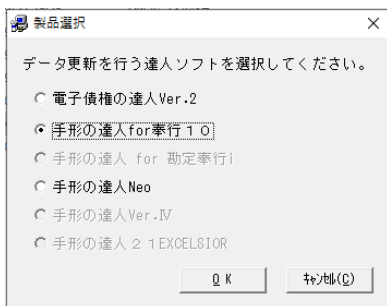
銀行・本支店の更新処理を指定して下さい。 2023/04/14 9:34

※データ更新画面が表示される前に「SQL サーバー情報設定」画面が表示された場合は13ページの処理手順をご参照ください。

※自動起動した場合は、3ページ 3の手順へ進んでください。

※自動起動しない場合は、5ページの手順でデータ更新画面を起動してください。

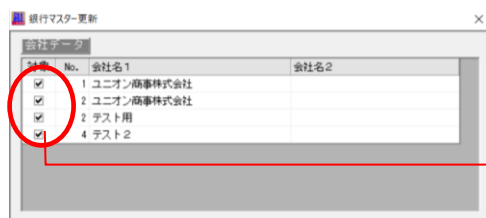
※下記のようなメッセージが表示された場合は、6 ページの処理手順をご参照ください。



※上記画面はお使いの製品によって異なります。

3.更新データの選択：マスタを更新する会社データを選択します。

※データ更新画面が表示される前に「SQL サーバー情報設定」画面が表示された場合は13 ページの処理手順をご参照ください。



指示欄に✓がついている会社データに対して銀行マスター更新処理を行います。指示欄☑部分をクリックすると✓が外れます。

銀行支店マスタは4万件以上ありますので、更新には時間がかかります。過去会社データ等、更新の必要がない会社データは指示欄の✓を外し、必要な会社データのみ更新して下さい。

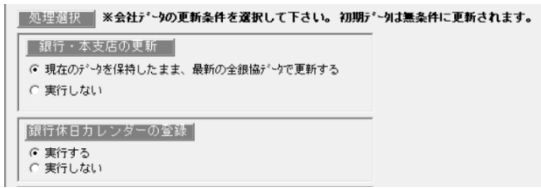
4.処理選択：『銀行・本支店』『銀行休日カレンダー』の更新方法を選択します。



『銀行・本支店の更新』

●現在のデータを保持したまま、最新の全銀協データで更新します。
(通常はこちらを選択してください。)

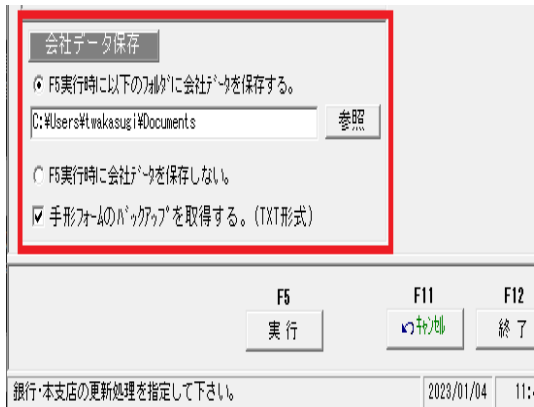
●実行しない。
(銀行・本支店情報が更新されません。)



『銀行休日カレンダー』

- 実行する。
(通常はこちらを選択してください。)
- 実行しない。
(銀行休日が更新されません。)

5. 処理選択：『会社データ保存』の更新方法を選択します。



『会社データ保存』

- F5 実行時に以下のフォルダに会社データを保存する。
(通常はこちらを選択してください。)

※保存される会社データは「対象」にを付けた会社データとなります。

- 手形フォームのバックアップを取得する。(TXT形式)
(F5 実行時に以下のフォルダに会社データを保存する。を選択した場合のみ、の有無を切り替えることができます。)

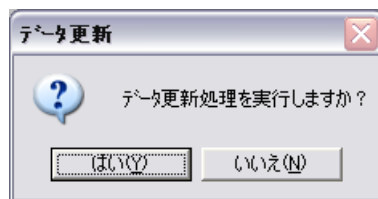
※手形発行機能を使用していない場合は実行不要です。

- 実行しない。
(バックアップが取得されません。)

6.実行

[実行]ボタン(F5 キー)をクリックすると、下記画面が表示されます。

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、銀行マスタ更新を開始します。



更新時間は、更新する会社データの数や運用されている環境によりますが、目安としては5～10分程度かかります。

注意！

◆銀行情報/休日情報更新プログラムが終了するまで、そのままお待ち下さい。

※更新途中で処理を終了させると、製品が起動できなくなったり、データベースが壊れてしまう可能性があります。

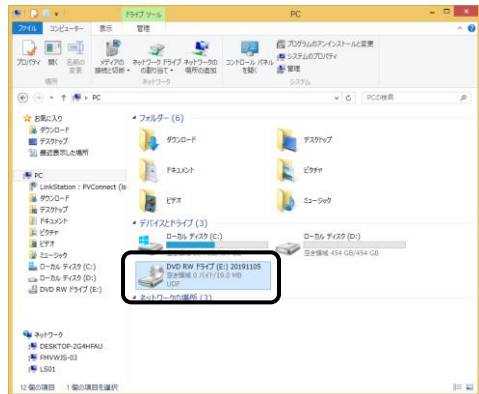
※更新途中でタイトルバーに「応答なし」と表記される場合がありますが、処理は実行中です。強制終了等を行わないで下さい。

処理終了後、下記のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。以上で更新処理は終了です。

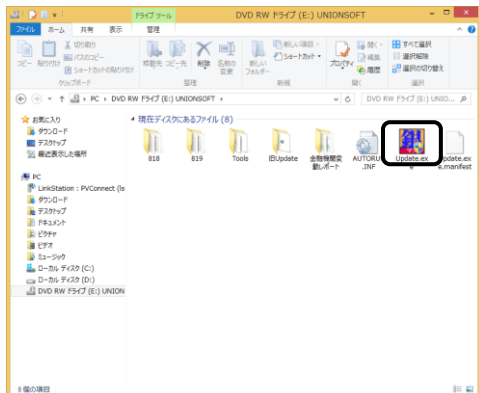


※（自動起動しない場合） 下記の手順で銀行情報/休日情報更新プログラムを起動します。

- i) エクスプローラー等を使用して CD-ROM ドライブのアイコン上で右クリック→「開く」をクリックします。

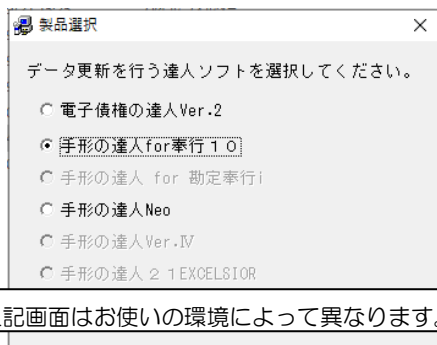


- ii) 「Update.exe」をダブルクリックします。
- iii) プログラムが起動し、データ更新画面が開きます。



※(下記のようなメッセージが表示された場合)

旧バージョンの手形の達人が同一環境にインストールされています。
銀行情報と休日情報の更新を実行するソフトを選択し[OK]ボタンをクリックします。



※製品の内部バージョンによって選択するプログラムが異なります。
事前に確認したバージョンに沿った製品名を選択してください。

8.00.00~の場合
⇒電子債権の達人、
手形の達人 for 奉行 1 0

9.00.00~の場合
⇒手形の達人 for 奉行 1 1、
電子債権の達人 Ver.2、
手形の達人 for 奉行クラウド

※バージョンの確認方法

- 1.製品を起動します。
- 2.[ヘルプ]-[バージョン情報]より、バージョンを確認します。



※参考画面です。バージョンはお客様の環境によって異なります。

更新の確認

銀行マスタが正常に更新されているか確認します。
銀行情報/休日情報更新プログラム実行後に、確認してください。

《事前確認》

更新プログラムファイル内の「金融機関変動レポート」フォルダを確認します。

- 旧Update
- 金融機関変動レポート
- AUTORUN.INF

フォルダ内の「支店の新設」や「支店名の変更」等のファイルを確認し、変更情報を一部メモに控えます。

《更新確認》

- 1.製品を起動します。
- 2.[総合]-[導入処理]-[銀行登録]-[本支店名登録]
- 3.上記《事前確認》で控えていた情報を、コードを入力して検索します。
新設、変更のあったマスタが表示されてきたら、更新が正常に完了している形となります。

銀行支店登録

銀行コード 0304 野村信託銀行

支店コード 233 修正 登録件数 239

支店名 新宿 2 3 3 支店

支店名が シブジエニザン

取引区分 取引あり 取引なし

手形割印枠

F2 印刷 F5 登録 F7 削除 F11 キャンセル F12 閉じる

本支店名を入力してください。 F1=Help

銀行情報/休日情報更新プログラムは、銀行情報および休日情報を更新するプログラムです。
製品のバージョンアップではありませんので、**[ヘルプ]-[バージョン情報]は変わりません。**
上記銀行マスタが登録されていれば、正常に更新されています。

エラー発生時の対応手順

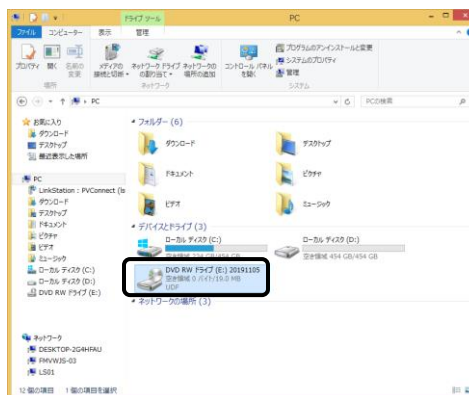
エラーメッセージ

- 「ファイル C:\¥ Update¥wBank.bcp を開けなかったので一括挿入できませんでした」
- 「一括挿入データ変換エラー（型の不一致）、行 1、列 6（tilsStn）。」

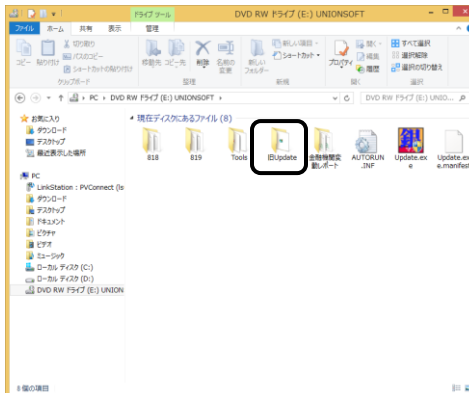
対応手順

- 1.エラーメッセージを閉じ、銀行情報/休日情報更新プログラムを終了します。
- 2.コンピュータを再起動します。
- 3.製品を起動します。正常に起動できることを確認します。
※製品が起動しない場合はサポートセンター(050-2018-2788)へご連絡ください。
- 4.[ヘルプ]-[バージョン情報]より、バージョンを確認し、情報を控えます。
- 5.製品を終了します。
- 6.下記の手順で銀行情報/休日情報更新プログラムを起動します。

- i) エクスプローラー等を使用して CD-ROM ドライブのアイコン上で右クリック→「開く」をクリックします。



- ii) [旧 Update]フォルダを開きます。



iii) [V8]と[V9]のフォルダがあります。
お客様ご利用中の製品バージョンによって、実行フォルダが異なります。

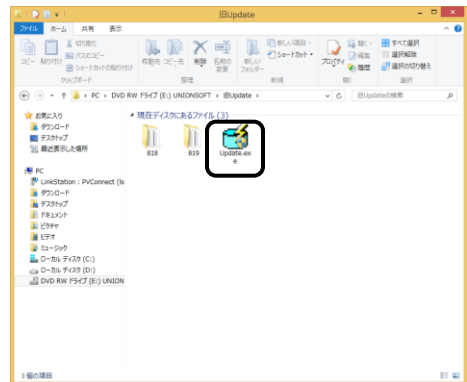
10 ページの対応手順 4.で確認していたバージョン情報をもとに、対応するフォルダを開きます。

8.00.00~の場合
⇒[V8]フォルダ

9.00.00~の場合
⇒[V9]フォルダ

iv) Update.exe をダブルクリックします。

v) プログラムが起動し、データ更新画面が開きます。



以降は 3 ページ 3 からの手順と同様になります。3 ページを参照してください。

注意！

- ◆ 通常銀行情報を一括して更新登録するのに対し、**[旧 Update]**より更新処理を実行した場合は、銀行情報を 1 件ずつ更新登録しますので更新終了までに 1 時間以上かかる場合があります。

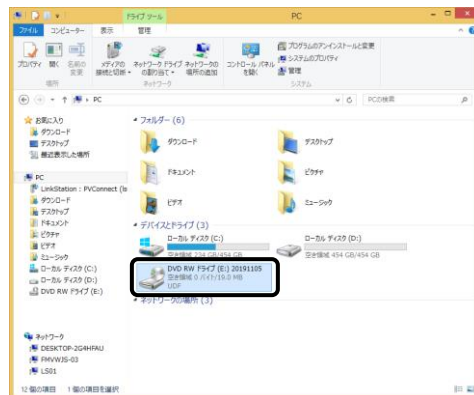
エラーメッセージ

- 「時間切れになりました。」

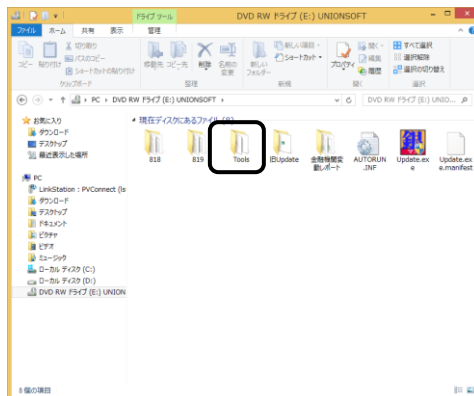
対応手順

- 1.エラーメッセージを閉じ、銀行情報/休日情報更新プログラムを終了します。
- 2.コンピュータを再起動します。
- 3.製品を起動します。正常に起動できることを確認します。
※製品が起動しない場合はサポートセンターへご連絡ください。
- 4.製品を終了します。
- 5.下記の手順でタイムアウト値を変更します。

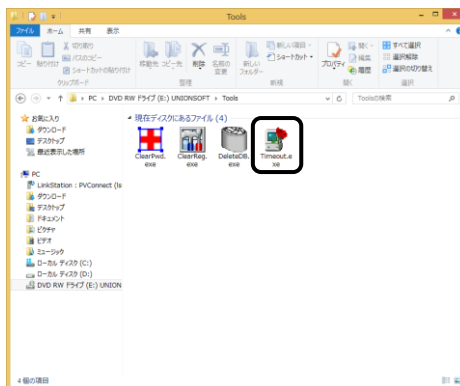
- i) エクスプローラー等を使用して
CD-ROM ドライブのアイコン上で
右クリック→「開く」をクリック
します。



- ii) [Tools]フォルダを開きます。



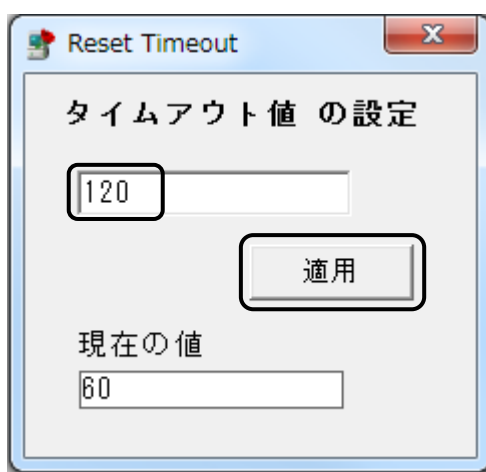
iii) Timeout.exe をダブルクリックしま
す。



vi) タイムアウト値を増やします。

初期値は”60”と設定されています。
現在の値より大きな数値を設定します。

数値を入力し、[適用]ボタンを
クリックし終了します。



6.タイムアウト値の変更後、コンピュータを再起動し、再度銀行情報/休日情報更新プログラムの実行を行ってください。

エラーメッセージ

- 「バックアップデバイス～が開けません。アクセスが拒否されました。」

23年1月の『銀行情報／休日情報更新プログラム』から、プログラム実行時に併せて会社データ、手形フォームのバックアップを取得できる機能が追加されました。

本エラーは、そのバックアップ保存先として指定されている場所にバックアップを正常に保存できなかった場合に発生します。

【確認事項】

バックアップの保存先として指定されている場所（パス）に、ファイル保存が可能な権限の設定がされていますか？

The screenshot shows a settings window with the following elements:

- Radio button: 実行しない
- Section header: 会社データ保存
- Selected radio button: F5実行時に以下のフォルダに会社データを保存する。
- Text input field: C:¥Union¥Tegatav8 (highlighted with a red box)
- Button: 参照
- Radio button: F5実行時に会社データを保存しない。
- Checked checkbox: 手形フォームのバックアップを取得する。(TXT形式)

【回避方法】

保存先のフォルダにファイルを作成・変更できるような権限がない場合、バックアップが正常に取得できません。

この場合はバックアップを取得せずにプログラムを実行ください。

<設定>

「 F5 実行時に会社データを保存しない。」にチェック

「 手形フォームのバックアップを取得する。」のチェックを外す

- 「SQL サーバー情報設定」画面が表示された場合の処理

対応手順

1. 銀行情報/休日情報更新プログラム実行時に下記の画面が表示される場合があります。

SQLサーバー情報設定

セットアップを行ったコンピュータのSQLサーバー名を入力してください。
また指定するコンピュータ上のSQL-Serverが動作していることを
ご確認ください。

SQLサーバー名:

2. 事前準備 1 ページ 2 で確認した SQL サーバー名を入力し、決定ボタンを押してください。
※データベース接続認証設定画面が表示された場合は「Windows 認証」を
選択して下さい。
接続できない場合はサポートセンター(050-2018-2788)へご連絡ください。

データベース接続 認証設定

Windows 認証を使用
 SQLServer 認証を使用

管理者:
パスワード: